

事業名		高齢者住宅改造助成事業				作成日	24年 5月 日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	市民福祉課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(2) 福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり～福祉・健康～				班名	地域福祉班		
	施策	<3>安心、ゆとりのある福祉社会の実現				事業分類	1	公的関与	5
	主要施策	②地域福祉社会づくりの推進				予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛍が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	民生費	
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	(7) 財政の適切かつ健全な運営							
	重点事項	③ 補助金等の整理・合理化							
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	当該世帯員の前年の所得税及び直近の住民税が非課税で、介護認定を受けている65歳以上若しくは身障手帳1・2級保持者、又はこれと同居する者							
	目的（どういう状態にしたいのか）	高齢者等が、自宅で自立した生活ができ、家族等の介護負担を軽減する。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		対象者が日常生活を容易にするために行うバリアフリー等の住宅改修に対して助成を行う。 補助対象限度工事額43万5千円のうちの2/3を助成する。 ただし、介護保険法による保険給付及び障害者日常生活用具給付等事業の助成を受ける場合は、その分を控除した分を助成。							
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等	吉岐市補助金等交付規則								
事業費 / 年度	平成 22 年度（決算）		平成 23 年度（決算）		平成 24 年度（予算）				
直接事業費（千円）	10,455		2,598		3,300				
財源内訳	国・県支出金	5,031		1,296		1,650			
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	5,424		1,302		1,650			
人件費（千円）	58		58		58				
内訳	職員（人・千円）	0.01 人	58	0.01 人	58	0.01 人	58		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	22年度 (実績)	23年度 (目標)		24年度 (目標)	25年度 (目標)	
	①	支給件数	件	68	40	28	40	40	
	②								
	③								
設定理由	本事業の活用状況								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	自宅で不自由なく生活できることは、高齢者にとって心の安らぎ等をもたらすと思われる。体に不自由のある人が、昔ながらの段差等のある家での生活は大変厳しいものがある。その一助としての本助成は、高齢化社会の中で、高齢者が安心して暮らせるようにバリアフリー化を促進し、大変重要な意義を持っている。			
	説明	バリアフリー化を促進することにより、転倒等の抑制が図られ、快適な在宅生活ができ、介護予防にも有効である。ひいては医療費等の抑制に貢献することになる。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	助成申請された場合は、要件に該当しない場合を除き、認定しており、全件認定という最高目標を達成している。しかしながら、今後、団塊世代の時代に突入するため、将来的に全件認定できるかどうかという財政面での不安は残る。			
	説明	ほとんどの申請者が介護認定者であり、まず、介護の担当で事業内容を審査するため、それを活用することにより、認定時間の大幅な短縮が図られている。			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討			
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H23年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	現状維持とする。